広島県立総合技術研究所
Hiroshima Prefectural Technology Research Institute

資料提供
令和７年１月 30 日
農業技術センター
技術支援部
担当｜伊藤
電話｜082-429-0522

担い手、JA、農業関係者にお勧め！
新品種、害虫防除、土壌改良の研究成果を動画で配信！

広島県立総合技術研究所　農業技術センターでは、創出した研究成果を県内生産者や関係者に広く紹介し、事業者等への効果的・効率的な移転活動を進めています。この度、5つの研究成果を発表する研究成果発表会をオンデマンド方式で開催します。

研究成果発表会の概要

【日　時】 令和7年2月４日（火）～令和7年2月 27 日（木）
【場　所】 オンデマンド方式（YouTube による動画配信）
https://www.pref.hiroshima.lg.jp/soshiki/30/r6happyo.html
【主　催】 広島県立総合技術研究所　農業技術センター
【参加料】 無料
【研究成果の発表】

カテゴリ	表題	内容
新品種（価値向上）	酒造好適米新品種「広系酒45 号（萌えいぶき）」～「『日本初！』高温登熟耐性を持つ多収品種の普及～	広島県が新たに育成した酒造好適米「広系酒 45 号（萌えいぶき）」の育成経過と特性、および今後の普及方針について紹介します。
	カンキツ新品種「瑞季」の栽培特性と高品質安定生産技術	広島県が京都大学と共同開発したカンキツ新品種「瑞季」の栽培特性および高品質生産技術について説明するとともに、流通事業者、消費者の果実評価を紹介します。
新品種（病害対策）	イチジク株枯病対策の切り札：抵抗性台木新品種「励広台1号」	イチジクを栽培する上で最も深刻な問題である株枯病の対策として、広島県と農研機構が世界で初めて開発した抵抗性台木新品種「励広台1号」の作出の経緯や特徴について紹介します。
害虫防除	新たな害虫忌避剤の開発利用～ジャスモン酸類縁体で植物防御力を高める世界初の忌避剤を実用化～	施設園芸で問題となるアザミウマを対象に、植物ホルモンであるジャスモン酸の類縁体による忌避技術を開発しました。効果的な防除方法について紹介します。
土壌改良	もみ殻施用などによる水田転換畑の土壌物理性改善	粘質土壌の排水不良圃場へのもみ殻施用および逆回転ロータリ耕による土壌物理性の改善効果と、改善後の作物生育や増収効果を紹介します。

発表内容について、取材対応を受け付けております。
取材対応
取材窓口：広島県立総合技術研究所　農業技術センター技術支援部（伊藤）　082-429-0522

【別紙資料】研究成果発表会チラシ

【研究成果発表会のHPサイト】

https://www.pref.hiroshima.lg.jp/soshiki/30/r6happyo.html